

R-18
ADULT
ONLY

人妻マルティナさんの 冒険者復帰録♡

欲求不満な
エロエロ人妻ボディが
若い男とパーティー組んで
寝取られない訳無いよね

しゅにく2

人妻冒険者・マルティナ

ジョブ…フェンサー
レベル…33

家計の事情で冒険者に
復帰した人妻さん。
現役の頃はパーティを組み、
刺突武器を操る軽装の
戦士として活躍していた。
若い頃と変わっていないと
言う夫の言葉に乗せられ、
押し入れに眠っていた昔の
装備を引っ張り出した彼女。
サイズが少しきつくなった
現役時代の装備に身を包み、
夫のために再び冒険者
として稼ぐつもりである。

夫の能天気な笑顔に
見送られながら私は、
ふたたび冒険の世界へと
舞い戻ることになった。

いや、
昔を思い出すなあ

久しぶりの冒険者ギルド…。
訪れたのはいつ以来
だったかしら？



まずはクエスト
いや…仲間かしら

ちろっス
俺も一人なんスけど
一緒にパーティ
組みませんか

そういえば
女性冒険者が
誘われやすいのも
相変わらずらしい

ギルドに入ると私はまず
依頼が貼られている
掲示板を見上げた。
昔と同じように、様々な
クエストが目に入る。
今は当然一人なのでソロ
クエストを選ぶしかない。
…が本来ソロは新人が
やるモノなので、報酬は
極めてマズい。
やはり最低二人以上で
パーティを組んで討伐系
を受けたいのだけれど…。
掲示板の前でそんな風に
悩む私に一人の冒険者が
声をかけてきた…。

えっやば！
マジで美人さん
っスね♡

私もブランクがあるとは
いえそここのベテラン。
こっちが引っぱらねばと
気合を入れる。

ちよつと不安もある
けど、とりあえず
組んでみようかしら

そんな少し緊張しながらの
復帰クエストは無事大成功に終わり
報酬の入った袋はずしりと
重い音を響かせたのだった。

ドサッ

大成功したクエスト後の打ち上げが盛り上がるのは当然の事だった。宿屋の食堂兼酒場での宴は、昔の様に心を弾ませた。



まだまだイケるっしょ
もっと注文するんで
どんどん飲んじゃってくださいよ

久しぶりの酔い心地に思わず私の心と口も緩んでいく。若い冒険者との会話が尽きないまま、彼の言葉にのせられて私はついつい杯を重ねていった。

いつ部屋に戻ったのかは覚えていない。いつの間にか隣に彼も居て当然の様に私をベッドに押し倒した。だらしなく開いた股間を彼の指が妖しくなぞる

飲みすぎたせいで体に力が入らない。もがく私の唇は、そのまま彼にふさがれた。

ちよっ…
ダメよ…

そんなこと言って
もうこんなに
濡れてんじゃ
ねーか

しかも
もの欲しそうに
指に吸いつい
てんぞ？

お願い
私には
夫が…

私も抵抗しようと
したけど
でも彼の指が…
私の中に…

おっ？
中は結構
きついね♡
旦那さんと
最近してないって
マジみたいだなあ

そ、それは…
んっ♡

それで
少しづつ体の
力が抜けて
しまつて…

ううっし
これでトロットロ
人妻ま○この
出来上がり♡

あっ♡
そこ…っ♡

まずは
じっくり中を
ほぐしてっ♡

へへ…
俺が色々
思い出させて
やるよ

今度は俺のも
気持ちよくしてよと
自信たっぷりな彼が、
さらけ出したソレは、
既に天を衝くかの如く
そそり立っていた。
久しぶりに見たオトコの、
しかも今まで見た中でも
最大級の雄々しさに
思わず目を見張る。

嘘、でしょ…

この場を
切り抜けるかも
しれないわ

と、とにかく…
昔みたいに口で
抜いておさめれば…

おおっ!?

そう思って私は、彼のおっきなおち○ぽを
啜え、一生懸命にしゃぶった。
久しぶりだったけど彼は気持ちよさそうな
顔で喜んでいる。

こられ
やべえっ♡

もう出す
ぞ…っ

へへ、上手すぎる

一度射精したと
いうのに、彼の雄々しい
肉棒は固く反り立った
ままだった。
そしてすぐ目の前で
ソレが自分の中に
突き立てられようと
していた…。

ブクッ

ぬ
ちゅっ♡

うえっ
人妻ま○こに
生挿入♡

お願い
ほんとに
だ、ためよ…
あぁっ…♡

にゃ
ぽふっ♡

それにこの
体の奥が
疼くような

びくっ…

忘れていた
この感覚…

夫以外の生の…

いつ以来だろう…？

ず
ぬぬ

ぬっ♡



うそ…!?
まだ
するの?

こんなの…
おかしく
なっちゃうつ♡

：私のそんな甘い考えは
若い肉体のはち切れん
ばかりの性欲にあっけなく
押しつぶされていった。
淡白な夫とは比較にならない
程の暴力的なピストンに
一晚中責められ続け…。

これくらいで
へばんなよ
奥さくん♡

おらっ
もっかっ
イけっ♡

もう
許してえ…

…気づけば私は体を
のけ反らせ絶頂していた。
下の階まで聞こえるような
大きな声を上げながら…

いやー
奥さんの体
サイコーだったわ♥

魔物が縄張りを
主張する時
爪痕を残す様に…

俺ら色々
相性いいみたいだし
このまま明日から
組もうぜ♥

…貪られ尽くした
私のカラダには
隅々まで彼の精液が
こびりついていた…

いや、昨日はやりまくったな、
久々の大当たりだわ。
名前はマルティナ、だったかな？

簡単なクエスト成功させてからの
打ち上げで酔わせて即ハメ成功。
復帰勢の人妻なんてチヨロいね。
しっかりいい体してやがるな。

スルッ

またムラムラしてきたから
石橋の下に連れ込んで。

わ、若いから
仕方ないわね。

スルッ

素直に従っちゃうムツツリ人妻さん。
そんな風に誤魔化しても俺のち○ぽに
ハマったのもろバレなんだよ。

もっとしっかり
挟めって

ムチッ♡

ごめん
なさい...

目の前に突っ立って
パイズリさせる。
人妻の癖に張りのあるエロ乳だ。

やっぱり
大きい...

ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡

：なんて事を思ってそうなの
スケベ顔で俺のち○ぽに
釘付けになってやがる♡

んっ♡

レッ♡
レッ♡
レッ♡
レッ♡
レッ♡

服の中にたっぷりと
出してやった♡
この後はもちろん
このまま冒険に...

ビッ♡
ビッ♡
ビッ♡
ビッ♡
ビッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡
グッ♡
グッ♡

ヌチャア……♡

モワッ♡

……と思ったが予定変更。
このままここでハメると
するか。

グイッ

だめよこんな所で
誰かに見られたら……
ああんっ♡

おん♡

グ

ポ
ポ
♡

壁に押しつけ
強引に
挿入する。

口では嫌がっているが
しつとりと湿った
人妻ま○こはすんなりと
俺のち○ぽを迎え入れた。

えっ？
ちよつと……
何を!?

人の気配が
石橋の上を
通り過ぎる度に

誰かが
橋の上に…

声が聞こえたら
気付かれて…っ

手で口を押え
必死に声を
押し殺しては
いるが

こんな姿を
見られちゃうっ♡

極上の人妻ま○こは
ねっとりとし
ち○ぽに吸いつき
離さない。



薄暗い橋の下で
冒険者らしからぬ
その豊満な体を
満足するまで揺らす。
こんな上玉を逃がす
訳にはいかない。

後で荷物かも
冒険者証でも
あさるか

やべー
めっちゃ出る♡

だめえっ♡
そんな♡
奥までえっ♡

逃がさないように
色々調べておこう。
そんなことを考えながら
俺は丸みを帯びた人妻の
デカ尻にたっぷりと
ぶっかけてやった。



あの日から、
彼と組んだパーティーは
ずるずると続き…。
クエストが終われば…
いえ、無くても毎晩
宿で彼に抱かれる
日々が続いた。

こんな事はイケない、
夫に申し訳ないと
思いつつも私は、
彼との関係を中々
切れないでいた…。

そんな悶々とした日々を
過ごしていた私の前に、
唐突に彼が現れた。
いきなり家まで
訪ねて来るだなんて。
どうしよう…。
私の中ではあくまで
彼との関係は、
冒険者でいるときだけ
のモノだったのに。
まさか家まで知られて
いるだなんて…。
私は、動揺を隠しながら
彼は冒険者仲間だと
隣にいる夫に紹介した。

いや～
近くまで寄ったんで
来ちゃいました♥
あ、旦那さん？奥さんには
いつもお世話になってます

何も知らない夫は
冒険の話を知りたいらしく
無邪気にも
彼を夕食に招待してしまった。

う、嘘…
どうしてここに!?



彼の冒険譚を
楽しそうに聞いていた
夫だったが案の定、
すすめられるままに
飲まされた挙句
早々と机に突っ伏して
寝てしまった。

あゝらら
旦那さんもお酒弱いっすね

ああ…
だめよ
夫の目の前で

まあ、その方が
都合がいいっすけど
ね、奥さん？

……っ

なのに…

なのに私は…
彼に触れられる
だけで

フチュ
フチュ♡

さてと旦那さん
さっきは話さなかった
んスけど実は

ダンジョンだけ
じゃなく
アンタの奥さんの
体も…

こんな風に
隅々まで
しっかりと

攻略しちゃって
たんですよ♡

我慢…
できなく
なっちゃうの♡

はぁっ♡

はぁ……♡

フルン♡

フルン♡

ズ
チ
ュ
ッ

俺のち○ぽ
デケーからさ〜

奥さんもコレ
気に入ってる
よな〜♥

アナタ…
もう私のおま○こ
彼専用の形に
変えられちゃった…

ア
ン
タ
の
と
違
っ
て

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

奥まで
ちやうんと
届くんだよね〜♥

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

ズ
リ
ュ
リ
ュ
ッ

グ
ホ
ッ
♡

旦那さんが粗チンだからさう奥さんが欲求不満なつて冒険者復帰したんじゃないの？

違ふ：
私は家の：
夫のために：

711
知
い
♡

あ
あ
ん

：だだ
つめ：
♡え

はあ

あ、

いえ：
ほんとは
彼の言う通り
私：

ほくら奥さん
旦那の目の前で
いつものアクメ顔
見せてあげて♡

ク
ビ
ユ

キョー

ヒ
フ
フ
フ
フ

レ
コ
ル
マ
♡

か
た
ッ

あ…
中…に…?

え…?

ん…

げ…っ

グッ
おッ
♡

やべー
これ以上は
さすがに
起きる…
よな

寝室で
続き…
しよ♡

ねえ…

どうせ
一回中に
出され
ちやっ
んだもの…

ドクン…
ドクン…
♡

まさかそっちから
言い出すのかよ
まゝお互いもう
我慢できねえよな♡

気が付けば私は
自分から
私たち夫婦の聖域である
はずの寝室に
彼を招き入れていた…。

そのまますぐに
糸まといわぬ姿で
彼の首に手を回し
貪るように
お互いの舌を絡めあう。

そう…
彼の言葉通り
私は…

ギニッ

ギッ

んっ

んっ

アッアッ

ニッ

アッアッ

ニッ

ギッ

あ…っ♥
奥に…
そこ好き♥

夫のち○ぽでは
絶対に届かない
所まで

そんなに旦那ち○ぽ
物足りなかったんだ？

冒險者を引退し
安定を求めて一緒にな
った今の夫を勿論
愛しているわ…
でも…

抉られてしまう
彼のこの立派な雄ち○ぽの
虜になってしまったの…♥

あ…っ♥
奥に…
そこ好き♥

夫のち○ぽでは
絶対に届かない
所まで

そんなに旦那ち○ぽ
物足りなかったんだ？

決られてしまう
彼のこの立派な雄ち○ぽの
虜になってしまったの…♥

冒険者を引退し
安定を求めて一緒に
なった今の夫を勿論
愛しているわ…
でも…

[illegible][illegible]

冒険者をやっていった時の
なかば犯されるような
強引なセックスと
夫のそれでは比べるべくも
無くて…

そんな昔の冒険者
仲間達と全く同じ様に
彼も私に囁くの…

中にたっぷり出すからな
絶対に孕ませてやるぞ
…って♥

厳しい冒険で培った筋肉質な
巨軀に組み敷かれ
嵐のような雄の律動を体の奥で
一晚中受け止めたあの頃…



その言葉を合図に
始まった体ごと叩きつける
ようなピストン♥

若い性欲を煮詰めた
ような濃厚な精液で

私の体のいちばん
奥深くまでたっぷり
満たされちゃったの♥

フルルルッ♡

——ごめんなさい
アナタ…
やっぱり私…

これからも
この極太おち○ぽ専用の
ハメ穴奴隷として

はぁっ♡

はぁっ♡

はぁっ♡

彼の冒険をサポート
してイキたいの…♡

又チャッ♡

グッポ…♡



そうか
くれぐれも魔物には
気をつけるんだよ
いつてらっしゃい



ごめんなさいね
今度のクエスト
数日かかったちゃう
みたいなの…



何も知らずに見送る夫に
私は手を振り微笑む。
アナタには秘密の
私と彼との冒険…。
まだまだ
続いちゃうかも、ね♥

スル……♡



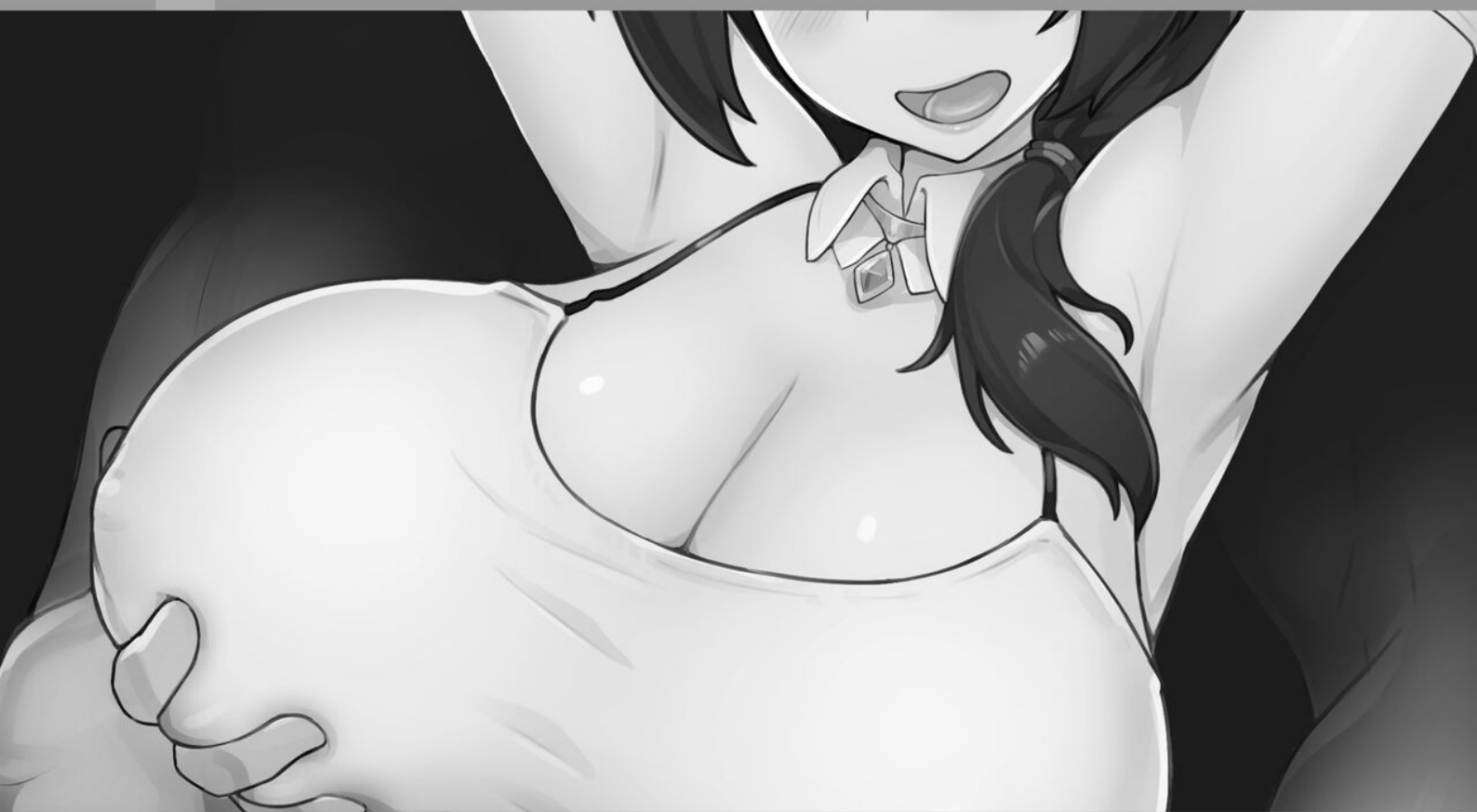
ええ
いつてきます
アナタ♥



人妻冒険者マルティナさんの 冒険者復帰録♡

欲求不満なエロエロ人妻ボディが
若い男とパーティー組んで
寝取られない訳無いよね

R-18
ADULT
ONLY



著者：しゅにく 2
Twitter:@syuniku2

無断転載及び18歳未満の方の
閲覧・購入を禁止します。